

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

自己評価

学校教育目標	子ども一人一人の自立や社会参加、就労の実現を目指して、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する。
評価する領域・分野	「教育活動・学習指導」
現状及びアンケートの結果分析等	「児童生徒のよさ・可能性を伸ばす工夫」「経験を広める交流」「将来を見据えた計画的支援」「実態に即した授業」について、肯定的意見の減少・否定的意見と「わからない」の増加が見られた。また、「特色ある教育活動」「一人一人に合った教材・教具」については、全体平均より「あまりあてはまらない」が高目で、『児童生徒の可能性と将来を見据えた授業・支援の充実』が課題として考えられる。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・育てたい資質・能力を確実に身に付けるための授業づくり ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会 ・全校研究会 ・部内研究会 ・主事会 ・企画委員会 ・部会 ・学年会 ・類型会 ・作業班会 等
目標の達成に必要な具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の経験豊富な外部講師を招聘した授業改善 ・新型コロナウイルス感染防止に伴う保護者への授業内容の理解促進活動
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や個別懇談時における保護者の授業に対する発言内容 ・部懇談時における保護者の発言内容
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の校長経験を有する大学講師による年4回の指導助言 ・学部及び学年別にて3密を回避した授業参観の実施 ・映像中心の通信から目的や取組状況を記した通信への移行
評価の視点	評価
①主題研究への取り組みを通して授業改善と教員の専門性は高まったか。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
②授業参観は保護者へ日々の授業を分かりやすく伝えられるものとなったか。	A <input checked="" type="radio"/> B C D
③通信の内容は日々の授業状況をより正確に詳しく伝えるものとなったか。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ▲依然としてこれまでの授業スタイルを踏襲した授業内容や構成が目立った。 ○保護者の参観割合が例年より高く授業に対する関心度の高さが伺われた。 ▲依然として写真中心の通信で授業の目的や成果にまで踏み込んだ記載が少ない。 	A B <input checked="" type="radio"/> C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の創作教材教具がより活用しやすいようデータベースを構築 ・全教職員が他学年や他学部における研究授業を参観できる体制の構築 ・指導と評価の年間計画及び個別の指導計画の記載に関するマニュアルを作成し、着眼点を明確にしたうえでのPDCAサイクルによる授業改善

学校関係者評価 (令和3年1月25日実施)

意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・チームティーチングによる授業を行う際、メインティチャーとサブティチャーとの連携については、目指す姿や目標を共通理解し、チームで授業を行ってほしい。 ・オンライン授業に参加できない児童生徒の対応に関して、より一層学習保障を充実させた教育環境を整えていくことが望ましい。 ・SNSやインターネット等を活用して、「何を伝えたいか」をよりはっきりとさせた情報発信が大切である。

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

自己評価

学校教育目標	子ども一人一人の自立や社会参加、就労の実現を目指して、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する。	
評価する領域・分野	「保健管理」「安全管理」	
現状及びアンケートの結果分析等	「新型コロナウイルス感染症対策・医療機関との連携」について、各評価区分ともアンケート結果の全体平均値に近い数値であったが、若干「よくあてはまる」が高く、「あまりあてはまらない」が低い状況にあった。また、「安全配慮・緊急時対応」については、「よくあてはまる」の数値が極めて高く、「あまりあてはまらない」「わからない」の数値が低い状況にあった。	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・健康で安全な生活を送ることができる環境づくり	
重点目標を達成するための校内組織体制	・コロナウイルス対策会議 ・安全衛生委員会 ・主事会 ・企画委員会 ・分掌会 ・部会 ・学年会 ・類型会 等	
目標の達成に必要な具体的取組	・新型コロナウイルス感染防止に関する情報を全職員で共有 ・新型コロナウイルス感染防止のための対策措置を徹底して毎日実施 ・安全点検に基づく修繕箇所の早急な対処	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・新型コロナウイルス感染者の発生状況 ・児童生徒の保健室利用状況と学校事故の発生件数	
取組状況・実践内容等	・会議での議決内容及び産業医の指摘事項に関するこまめな情報発信 ・「学校再開に伴う本校の新型コロナウイルス感染症予防対策」の完全実施 ・防災安全部と事務部とが連携した破損箇所の早期修繕	
評価の視点		評価
①議決内容及び指摘事項を順守した学校生活を全学校関係者が行えたか。		A B C D
②毎日の健康チェック及びマスク着用・換気・手洗い・消毒が徹底できたか。		A B C D
③破損箇所に起因する学校事故は発生しなかったか。		A B C D
成果・課題		総合評価
○電子掲示板や各種会議を通じて概ね議決内容及び指摘事項は順守された。 ○依然として改善点は見られるが新しい生活様式が日常生活へ定着しつつある。 ○破損箇所に起因する学校事故や緊急搬送を要する案件は皆無であった。		A B C D
来年度に向けての改善方策案	・新しい生活様式を取り入れた指導と評価の年間計画の修正 ・新型コロナウイルス感染防止をより徹底した職員室の環境整備 ・ヒヤリハット報告の内容に関する教職員へのタイムリーな周知徹底	

学校関係者評価 (令和3年1月25日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により児童生徒の運動不足が懸念されることから、保護者と共に対策や提案を行い、児童生徒が楽しく体を動かす活動を取り入れていくとよい。 ・新型コロナウイルス感染防止に向け、コロナウイルス対策会議での情報が全教職員に行き届くためのチェックシート活用や現場ならではの意見が会に反映される仕組みの構築ができるとよい。 ・コロナ対応についても大事だが、防災に関しても引き続き設備や物資の補充及び強化に努めてほしい。 	
-----------	--	--